

授業科目

生活援助技術V

担当教員名 石橋 富美世 (非)	対象学年	3	対象学科	社会 (介護福祉コース必修)
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	◎

授業の概要

多様な聴覚・言語障害（者）の特性を理解し、その状況に応じた支援方法について学ぶ。

授業の目的

多様な障害の特性・コミュニケーション方法等を学び、適切な支援を行えるようにする。

学習目標

- 1 聴覚・言語障害（者）を理解するとともに、コミュニケーション手段や福祉制度について学ぶ。併せてコミュニケーション手段の一つである「手話」実践技術を学ぶ。
- 2 障害当事者との実践交流体験や事例から学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業概要説明 聴覚・言語障害（者）理解I～障害について～	講義・DVD視聴	石橋 富美世
2	聴覚・言語障害（者）理解II～障害について～ 手話実技 1	講義・実技	石橋 富美世
3	聴覚・言語障害（者）理解III～障害について～ 手話実技 2	講義・実技	石橋 富美世
4	聴覚・言語障害（者）のコミュニケーションI 手話実技 3	講義・実技	石橋 富美世
5	聴覚・言語障害（者）のコミュニケーションII 手話実技 4	講義・実技	石橋 富美世
6	聴覚・言語障害（者）の各種福祉制度 手話実技 5	講義・実技	石橋 富美世
7	聴覚・言語障害（者）の生活・教育・職業 手話実技 6	講義	石橋 富美世
8	聴覚・言語障害（者）の現状と課題 手話実技 7	講義・討議・実技	石橋 富美世
9	障害当事者（ゲスト講師）との交流I	実習	石橋 富美世
10	聴覚・言語障害（者）の心理、SW 手話実技 8	講義・実技	石橋 富美世
11	障害当事者（ゲスト講師）との交流II	実習	石橋 富美世
12	聴覚・言語障害（者）のSW（事例から学ぶ） 手話実技 9	講義・実技	石橋 富美世
13	事例検討I	討議	石橋 富美世
14	事例検討II 手話実技 10	討議・実技	石橋 富美世
15	まとめ 手話実技まとめ	講義・まとめ	石橋 富美世
補足	1. ゲスト講師との日程調整により日程変更あり。 2. 視聴覚教材（DVD）適宜使用。 3. 手話実技はスマートフォンによる自撮りで表現チェックを行うので積極的に取		

り組むこと。
4. ミニテストを適宜実施する。

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	介護福祉養成講座「1 人間の理解」「5 コミュニケーション技術」「8 生活支援技術III」		中央法規			
	聴覚・言語障害者とコミュニケーション（新訂版）		中央法規	2010年	2,376円	
	聴覚障害者への統合的アプローチ	村瀬嘉代子	日本評価社	2005年	2,376円	
	聴覚障害者の精神保健～サポートハンドブック～		聴力障害者情報文化センター	2005年		
その他の資料	テキストは自作資料準備					

評価方法

授業態度、手話実技、レポート、課題ミニテスト、口頭試問

履修上の留意点

介護福祉士養成講座「1. 人間の理解」「5. コミュニケーション技術」「8. 生活援助技術3」、障害者福祉施設や相談援助に関してチェックしておく。

自身の表現手話をスマートフォンで自撮りしますので、思い切って取り組むように。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。